

---

# 怪傑！「珍」事件簿

セイデンワコウ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

怪傑！「珍」事件簿

### 【Nコード】

N8240P

### 【作者名】

セイデンワコウ

### 【あらすじ】

これは、最高裁判所判事の我輩が礎つりに勤しんでいた頃、珍事件に下した判決の事例集である。  
およそ99%がノンフィクションによるものである。

これは、最高裁判所判事の我輩が磯つりに勤しんでいた頃、珍事に下した判決の事例集である。  
およそ99%がノンフィクションによるものである。

第一話 『暗黒のR42の巻き』

この事件は、無事に釣行をすませ、帰路についていたときに突然起こった。

主犯格はやはりこの男、小村である。

和歌山に釣行し、あまりパツとしない釣果に、メンバーたちは、「あかなー」とぼやきながら車に乗り込んだ。

車は、小村の愛車ゴルフである。日も暮れて42号線は、対向車のヘッドライトがまぶしく反射していた。ゴルフも快調にとばしていた。

「佐野さん！ゴルフのライト暗くないですか？」

「やっぱりドイツ車は故障が多いわ・・・」

と小村がぼやく。

「そんなに暗くないですよ？ねえ佐野さん」と東田。

「そうやな！別に暗くないな！」と佐野。

「いや！絶対におかしいですわ！今日はライトがむちゃくちゃ暗いわ！！また、修理に金かかるわ・・・最悪や」と小村がまたまたぼやく。

何台の車とすれ違ったのであろうか・・・  
問題が解決しないままただ時間だけが過ぎていた。

・・・と、そのとき、解決は突然やってきた！

佐野が一言・・・

「小村さん！！サングラスかけたままやで・・・・・・・・」  
おもむろにサングラスをはずす小村・・・

「ほんまや！！明るなったわ」

小村の肩が、上下に少し動いていた。

判決：サングラス携帯方法違反

懲役1ヶ月（執行猶予3ヶ月）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8240p/>

---

怪傑！「珍」事件簿

2011年1月3日23時10分発行